

玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2022年5月②号

【緊急申入】

物価の高騰から暮らしと営業を守る対策強化を！

5月2日、新型コロナの影響に続き、物価高騰の影響が国民生活の全体に及び、とくに困窮世帯の生活に直撃しています。国に対しての対策を強めると共に、市としても独自の政策を実施することは可能です。補正予算で市民生活を応援するよう緊急に申し入れをました。

京都市の稲波財政室長と伊藤総務部長が応対され、稲波室長は「早急に対応すべきと考えている。いただいた要望も含め、補正予算の検討をしたい」と答えました。



中央で要望書を渡す井坂団長。右端が玉本なるみ市議

物価高での影響調査を行っています。

ぜひ、ご意見ご要望をお聴かせください！

消費税の10%増税に続いて、新型コロナ感染の影響や物価高などの影響が深刻な事態になっています。

日本共産党市会議員団は商店や業者の皆さんに、現場の実態をお聞きする調査活動を行っています。玉本なるみ市議も北区の事業所を訪問しています。

ある食堂では、「常連さんもまだ、戻っていない。売上はずっと減っていて回復していないのに、仕入れ値はどんどん上がっている。本来なら価格転嫁したいが、これ以上お客さんが減ったら余計に大変。今値上げはできない」と運営上、とても厳しい状況です。クリーニング店主さんは、「ガソリン代やボイラー代も上がっているが、値上げはできない」、79歳の鉄鋼業の方は、「年金少ないし、働かざるを得ない。工場の維持費のために、清掃のアルバイトに出ている」と、「持続化給付金がもう一度ほしい」「固定費の支援をしてほしい」「消費税の減税で底上げ支援を！」の声も広がっています。国や自治体が今こそ、支援する対策を打つべきです。

「一人のつぶやきから政治を動かす」日本共産党・たけやまさいに事務所がオープン



日本共産党・たけやまさいこ事務所



京都府庁前の日本共産党京都府委員会1階が事務所です。7月10日までの拠点として、頑張っていきます。

決意を語るたけやまさいこ予定候補、右は比例の大門みきし参議院議員

つぶやき：大手は値上げラッシュ！

先日、大手のチキンチェーン店は、油や小麦粉の高騰で価格値を数十円値上げすると報道されていましたが、小売店は「値上げはできない」と自腹を切って踏ん張っておられる。この違いはなんなんでしょうか……。いくらなんでも限界があります。こういう時に市民を応援するのが政治の役割です。参議院選挙でも大いに問われる問題です。



「いつもお世話になっています」と次女のパートナーから、母の日のプレゼントをもらいました。カーネーションとお部屋のアロマの芳香剤です。感激です！

お勤めなら、有給休暇や育児休職もできますが、自営業は休むと直、減収になります。労働基準法として、問題のある働き方でも、自営業は自己管理となり、問題にならないのも、何とかならないものかと思えます。仕事にやりがいを持って働いているので、苦にはなっていないようですが、家族との時間を作ることや本人の健康などが心配になります。身近に自営業の人もでき、ひしひしと自営業者の大変さを実感しています。

自営業の大変さ

アンケート

